

## 鳥類



イソシギ

- 生物分類：チドリ目シギ科イソシギ属
- 由来：在来種
- 重要種の指定状況：絶滅危惧Ⅱ類（VU）※1
- 種の特徴：水辺に生息し、昆虫類やエビ・カニ類、ゴカイ類などを食べます。一年中見られますが、冬に南下するものもいます。

- 撮影者：文京区
- 撮影場所：神田川
- 撮影日：2018年8月22日



シジュウカラ

- 生物分類：スズメ目シジュウカラ科シジュウカラ属
- 由来：在来種
- 重要種の指定状況：なし
- 種の特徴：市街地から山地までの樹林地などで一年中比較的よく見られます。果実、種子、昆虫類などを食べます。小さい体で素早く動きます。

- 撮影者：文京区
- 撮影場所：本郷給水所公苑
- 撮影日：2017年7月18日

## 爬虫類



シマヘビ または アオダイショウ

- 生物分類：有鱗目ナミヘビ科ナメラ属
- 由来：在来種
- 重要種の指定状況：シマヘビ 絶滅危惧ⅠA類（CR）※1  
アオダイショウ 準絶滅危惧（NT）※1
- 種の特徴：4本の縦縞模様はシマヘビかアオダイショウの特徴ですが、両者を確実に識別するポイントは目の色です。シマヘビは赤色、アオダイショウはオリーブ色の目をしていますが、今回の写真からはそこまで確認できません。シマヘビは地上性、アオダイショウは樹上性で、田んぼや小川、森林周辺に棲んでいます。東京都区部では、都市化の進行に伴い、個体数が減少しています。

- 撮影者：くるみるくさん
- 撮影場所：文京区小日向3丁目
- 撮影日：2019年7月2日

## 両生類



アズマヒキガエル または ニホンヒキガエル

- 生物分類：無尾目ヒキガエル科ヒキガエル属
- 由来：国内由来の外来種である可能性が高い
- 重要種の指定状況：  
（アズマヒキガエルは準絶滅危惧（NT）※1）
- 種の特徴：林に棲み、池や田んぼに産卵します。東京都にはアズマヒキガエルが棲んでいましたが、近年、西日本からの国内由来の外来種であるニホンヒキガエルとの交雑が懸念されています。今回の写真では、鼓膜が小さいニホンヒキガエルの特徴が見られることから、ニホンヒキガエルまたはその交雑種である可能性が高いです。

- 撮影者：SUMIREさん
- 撮影場所：大塚
- 撮影日：2018年8月19日

## 昆虫類



ヒメジャノメ

- 生物分類：チョウ目タテハチョウ科コジャノメ属
- 由来：在来種
- 重要種の指定状況：なし
- 種の特徴：主に明るい林や草地に生息しますが、人家周辺でも見られます。成虫は果物が好きなので、メロンを目当てにやってきたのかもしれない。
- 撮影者：SUMIRE さん
- 撮影場所：関口
- 撮影日：2019年8月21日



アオスジアゲハ

- 生物分類：チョウ目アゲハチョウ科アオスジアゲハ属
- 由来：在来種
- 重要種の指定状況：なし
- 種の特徴：黒地に明るい水色の帯が入ったきれいな模様のチョウです。市街地では庭や公園の花壇によく飛来します。クスノキ科の樹木に産卵します。
- 撮影者：Y.K. さん
- 撮影場所：白山
- 撮影日：2019年8月



ツマグロヒョウモン

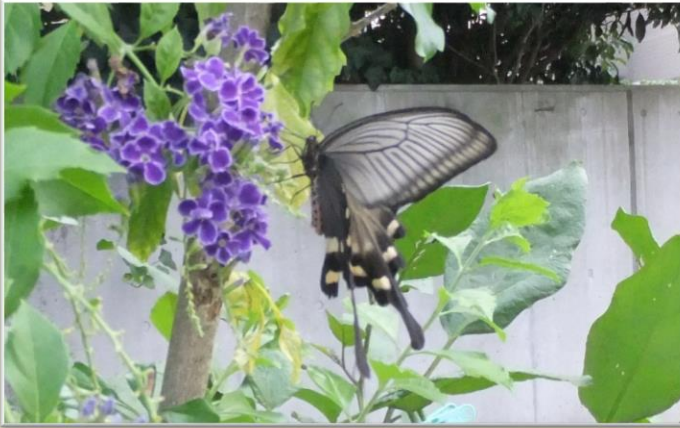
- 生物分類：チョウ目タテハチョウ科ツマグロヒョウモン属
- 由来：在来種（徐々に生息域が北上）
- 重要種の指定状況：なし
- 種の特徴：本種は南方系のチョウ類のため、もともと関東地方には分布していませんでしたが、今では関東地方の市街地でごく普通に見られるようになりました。幼虫はスミレ類の葉を食べます。
- 撮影者：栗田洋 さん
- 撮影場所：肥後細川庭園
- 撮影日：2017年11月12日



アケビコノハ

- 生物分類：チョウ目ヤガ科 *Eudocima* 属
- 由来：在来種
- 重要種の指定状況：なし
- 種の特徴：翅をたたんだ姿は木の葉にそっくりですが、翅を広げると翅の表側にある大きな目玉模様が現れます。幼虫はアケビやムベなどの葉を食べ、成虫は果実の汁を吸います。
- 撮影者：栗田洋 さん
- 撮影場所：本郷4丁目
- 撮影日：2011年11月10日

## 昆虫類



ジャコウアゲハ

- 生物分類：チョウ目アゲハチョウ科ジャコウアゲハ属
- 由来：在来種
- 重要種の指定状況：なし
- 種の特徴：幼虫の食草であるウマノスズクサが生えている所では、都心でも飛来することがあり、花壇の花を吸蜜している姿が見られます。
- 撮影者：栗田洋 さん
- 撮影場所：本郷4丁目
- 撮影日：2014年9月1日



ジャコウアゲハ（蛹）

- 生物分類：チョウ目アゲハチョウ科ジャコウアゲハ属
- 由来：在来種
- 重要種の指定状況：なし
- 種の特徴：後ろ手に縛られた女性のような形に見えることから、怪談『皿屋敷』の「お菊」に例えて「お菊虫」と呼ばれます。十分育った終齢幼虫はあちこち移動し、蛹になるのに適した場所を探します。意外な場所で蛹が見つかるのはそのためです。

- 撮影者：栗田洋 さん
- 撮影場所：本郷4丁目
- 撮影日：2012年4月1日



ブドウスズメ

- 生物分類：チョウ目スズメガ科 Acosmeryx 属
- 由来：在来種
- 重要種の指定状況：なし
- 種の特徴：幼虫はブドウ科などの植物の葉を食べます。食べる植物が都心にも生えていれば、都心部でも生息できます。
- 撮影者：前川哲也 さん
- 撮影場所：お茶の水女子大学
- 撮影日：2017年5月19日



ミンミンゼミ♀

- 生物分類：カメムシ目セミ科ミンミンゼミ属
- 由来：在来種
- 重要種の指定状況：なし
- 種の特徴：「ミンミンミンミンミー」と鳴くセミで知られていますが、鳴くのはオスだけです。東日本では平地で見られ、西日本では山地で見られることが多いです。幼虫は街路樹などの乾燥した土壌でも生きていけるため、都市部でも見ることができます。

- 撮影者：文京区
- 撮影場所：本郷給水所公苑
- 撮影日：2017年7月18日

## 昆虫類



ショウジョウトンボ♂

- 生物分類：トンボ目トンボ科ショウジョウトンボ属
- 由来：在来種
- 重要種の指定状況：なし
- 種の特徴：成熟したオスの姿がショウジョウ（猩猩）のように真っ赤であることから、この名がつけました。メスは茶色をしています。平地の池や水田で見られます。
- 撮影者：文京区
- 撮影場所：本郷給水所公苑
- 撮影日：2017年7月18日



オオシオカラトンボ♀♂

- 生物分類：トンボ目トンボ科シオカラトンボ属
- 由来：在来種
- 重要種の指定状況：なし
- 種の特徴：シオカラトンボよりも少し大きく、色が濃いのが特徴です。成熟したオスの表面が青白い粉で覆われる姿から“シオカラ”の名がつけました。メスは黄色をしています。開けた水辺環境を好むため、市街地の水辺でもよく見られます。
- 撮影者：文京区
- 撮影場所：関口台公園
- 撮影日：2017年7月4日

## エビ・カニ類



サワガニ

- 生物分類：エビ目サワガニ科サワガニ属
- 由来：在来種
- 重要種の指定状況：留意種（\*）※1
- 種の特徴：湧水など水がきれいで、岩陰などの隠れる場所がある所に棲んでいます。昆虫類や藻類など何でも食べます。冬は穴の中や岩陰などで冬眠します。
- 撮影者：肥後細川庭園パークアップ共同体
- 撮影場所：目白台
- 撮影日：2019年9月8日

## 種子植物類



アザミ属の一種

- 生物分類：キク目キク科アザミ属
- 由来：不明
- 重要種の指定状況：不明
- 種の特徴：日本にはアザミの仲間が100種類以上もあるとされており、種類の識別が難しいものも多々あります。アザミ属を同定する際は、花時に根出葉が生存しているかどうか、総苞（花の付け根）の形質、花の咲く向きなどを確認する必要があります。
- 撮影者：DAICHI さん
- 撮影場所：白山
- 撮影日：2019年7月24日

## ＜重要種とは＞

固有性、希少性、立地依存性、脆弱性や学術性などの観点から重要と考えられる生物種を“重要種”と呼びます。

本アルバムでは、下記に該当する生物種を“重要種”として選定しています。

## ＜重要種のカテゴリー＞

レッドデータブック (東京都区部) ※1	レッドリスト (環境省) ※2	基本概念
絶滅 (EX)	絶滅 (EX)	既に絶滅したと考えられる種
野生絶滅 (EW)	野生絶滅 (EW)	飼育・栽培下あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種
絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧ⅠA類 (CR)	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ⅠB類 (EN)	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
情報不足 (DD)	情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種
—	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
留意種 (*)	—	現時点では絶滅のおそれはないと判断されるため、上記カテゴリーには該当しないものの、留意が必要と考えられるもの

※1：「レッドデータブック東京 2013 (本土部)」(東京都、平成 25 年 3 月) の区部に該当する掲載種

※2：「環境省レッドリスト 2019」(環境省、2019)

## ＜外来種とは＞

もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物種を“外来種”と呼びます。

本アルバムでは、下記に該当する生物種を“外来種”として選定しています。

- ①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成 16 年 法律第 78 号) に基づき指定された特定外来生物
- ②国立研究開発法人国立環境研究所「侵入生物データベース」に掲載の生物種

---

## 文京区資源環境部環境政策課

〒112-8555 文京区春日一丁目 16 番 21 号

電話 03 (5803) 1276

---

## 文の京生きもの写真館 ホームページ

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/bosai/kankyo/jouhou/ikimonosyasinkan.html>

---